令和6年度 社会福祉法人 誠心会（誠心寮）事業報告

《総括》

社会福祉法人誠心会は法人理念「平等大悲」のもと「ともに生き合い育ち合う関係づくり」をめざし誠心寮の運営を主な事業として行いました。

令和6年度は定員45名での運営であり、平均入所児童数は36.3名という状況でありました。入退寮児童の状況は、入寮児童1名、退寮児童5名でありました。退寮児童5名については、高校を卒業して就職した児童が1名、大学に進学した児童2名、家庭復帰での退寮が2名でした。

令和6年度は大きく4つの項目について重点的に取り組みました。

1. 施設の事業展開

岐阜県による社会的養育推進計画の推進に沿い、小規模化・地域分散化を進めるため、当施設では2か所目の分園型小規模施設をパナホームとの賃貸契約での分園型小規模施設という形で開設しましたが、人材確保が思うように出来ず、結果的には、敷地内小規模GC「にじいろホーム」をほぼそのまま分園型に移し実施するという形にて始めました。

地域支援事業実施に向けては、実施するための人材確保と育成が出来ておらず事業実施の見通しはまだ立っておりません。ただ、相談事業やショートステイ事業に関しては市町村との連携が必要なため、事業の必要性等を市町村へ継続して働きかけております。

里親委託推進については、里親支援専門相談員を中心として施設内児童の里親委託に対するアセスメントを進めております。ショート里親の開拓や実際の委託については継続して実施できております。また里親支援機関（B型）として岐阜地域を中心に、里親支援に関する包括支援事業（フォスタリング事業）での里親訪問相談、里親サロン、里親研修等へ参加・協力も継続して実施できました。

ショートステイ事業についての実績は5件（人数7人、延べ日数30日）でした。一時保護受託については4件、受け入れ人数4人（延べ日数246日）の実績でありました。令和6年度は前年度と比較すると、ショートステイは前年度並みであり、一時保護受託件数及び受け入れ日数は減りました。ただ、打診される件数は多くあるが施設内児童の状況から受け入れが出来ない事案が多くあった事も要因の一つです。施設内の状況はありますが、子ども相談センターや市町村との更なる連携・協力により、地域の子どもや家庭に対しこれからも出来る限り応えていきます。

地域における公益的な活動では、第41回ふれあい広場（子ども広場の運営）を多数のボランティアの方々のご協力のもと職員・子ども全員で地域への感謝の気持ちを込めて開催することが出来ました。さらには施設周辺の清掃活動等、自施設で行える出来る限りの活動をしました。

2. 子どもの支援

子どもの状況全般としては、養育方針を基にした子どもとの関りを中心に、関係性構築を大切にし、保育士、指導員が中心となって各専門職（家庭支援専門相談員、心理療法職員、個別対応職員、栄養士）と連携し支援した結果、比較的安定した生活を提供することができました。ただ、愛着形成に課題があったり、発達障がいを抱えていたりする子どもは多く、施設内でのトラブルや問題行動もあり、また家庭支援が難しいケースも多く、対応の難しさは増しているのが現状です。次年度も、そういったケースへの対応のためにも支援方法の検討や施設内・外の連携を強化・充実させ、支援の質の向上を継続してめざしていきます。

学力向上においては、依然として学習意欲また学力が低い子どもはおりますし、また特別支援学級に通う子どもや発達障害を抱えているであろう子どもが増えている現状もあるため、学習ボランティアの方の支援や塾等を積極的に活用することで、少しでも学習に対して前向きになれるような支援をしました。また今年度においては国立大学へ合格することができた子どももおりますので、良い波及となり繋がっていくよう支援していきます。

子ども自治会においては、児童養護施設倫理綱領を子どもの前で職員が読み上げ、宣言する機会を設けたり、グランドルール（施設の基本ルール）の話をして、施設での生活がより良くなるよう取り組みました。行事等話すことが中心とはなりましたが、食育に関する話や食事のマナー向上を目的とした行事で盛り上がるなど、良い雰囲気は出来ております。自他ともに大切にできるような取り組みを継続し、子ども達が施設生活の中で、より安心・安全を実感でき、また自分の思いや意見を表明できるようにしていきたいと考えております。

また子どもの権利擁護として、法人内の豊かな生活をめざす委員会において意見箱を設置しており、当年度の投函数は5件でありました。第三者委員より施設長に対し、全て施設内で解決可能な意見（食事・おやつ要望3件、問題行動が多い児童の件での要望2件）であるため解決していただきたいとのことであったので施設内にて話し合いをしたり、職員の取り組みで解決に至るよう努めております。

子どもの意見表明（アドボケイト）事業を県が行うことになっておりましたがまずは職員の理解を深めることが必要であるとの事で、職員に対しての説明会を実施していただきました。

子どもの権利ノートについては、令和6年度においても継続して改訂とその取扱説明書の作成を実施しました。作成の途中ということもありましたが、旧子どもの権利ノートを使用して子ども達に対して説明し、その後生活単位に分かれて子どもからの質問にも答えながら更に詳しく説明しました。

また、社会性の獲得のために、当年度も全体や各チーム（本体男子、本体女子、にじいろホーム、うららかホーム）において、子ども達に様々な体験をしてもらうための行事を多く実施しましたし、調理体験や豆つかみ大会といった、食の大切さ、食事のマナーを向上させる機会もつくることが出来ました。

自立支援、アフターケアの充実については、FSWと自立支援担当職員を中心に支援しました。進学・就職に際しての知識や理解が不足しているため中高生サロンを実施し、自立に必要な事柄や、社会に出た時のマナー等の習得を行いました。しかしそれでもスムーズな自立は難しいため、期限をつけず出来る限り見守り、支援を継続していきます。

さらには近年、職員の自主的な立ち上げによる性教育委員会にて子ども達への性教育を行う内容検討を行い、実際に子ども達へ性教育「すこやかタイム」を実施しました。また、性教育に対する知識や支援のさらなる向上のために、外部講師を招き、これまでの活動を報告し、これからの活動内容について助言等いただくことも出来ました。

上記の取り組みについては、子ども相談センターや学校、地域にある子どもや家庭を支える機関等の方々と連携を取ってこそ出来ていることであり感謝申し上げます。

3. 職員の確保と育成

人材確保については、ホームページやInstagramの活用、就職フェア等への参加、実習生やボランティアの積極的な受け入れ等を中心に取り組み、当施設の魅力を発信し、人材確保に努めました。結果としては、採用予定数には届かない結果となりましたが、これからの施設運営を考えると保育士や指導員の獲得の必要性はますます顕著になってい

きますので、さらに人材確保への取り組みが充実するよう継続していきます。

育成のための施設内外での研修では、子どもの支援のあり方や姿勢、チームワーク等について、職員会議やOJTを中心とした研修、学習を継続して実施しました。また外部への研修等による職員の資質・専門性の向上においては、オンライン併用のハイブリッド式の研修も開催されるようになり、多くの研修に参加出来、スキルアップやモチベーションの向上にも繋がりました。

また職員の業務による負荷を考慮し、有給休暇の効果的な取得や福利厚生にも重点をおき取り組み、給与等の保障においても人事院勧告に添い増額改定をしました。結果として、本年度において離職者1名であり定着につながったと感じております。

4. 子どもたちの生活環境及び職員の職場環境の整備等

本年度においては計画実施するような施設整備についてはありませんでした。

衛生管理、健康管理については、例年通り健康診断や予防接種等を実施し、大きな病気や感染症の蔓延等もなく過ごすことが出来ました。

次年度も子ども達のより良い生活環境及び安全・衛生管理、また職員にとってより良い職場環境づくりのための整備と対策を進めていきます。

上記のように令和6年度事業については概ね無事に終了することが出来ましたが、地域の方々や関係機関の方々のご理解とご協力のもと事業を進められたことに深く感謝申し上げます。

《事業向上対策事業》

1. 会務の開催

①監事会の開催

- (1) 令和6年5月31日（金）午後3時00分より 誠心寮事務室
・令和5年度社会福祉法人誠心会事業報告及び運営管理及び予算執行状況の監査

②評議員会の開催

- (1) 令和6年6月16日（日）午前10時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎評議員定数9～16名（現員10名）の内10名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・令和5年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・令和5年度社会福祉法人誠心会収支決算及び監事監査報告について
- ・社会福祉法人誠心会理事の選任について

- (2) 令和7年3月16日（日）午前10時00分より 誠心寮児童館2階研修室

◎評議員定数9～16名（現員9名）の内7名出席 監事1名出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会俸給表の改正について
- ・令和6年度社会福祉法人誠心会補正予算について
- ・永年勤続表彰該当者の選考について
- ・社会福祉法人誠心会育児・介護休暇等に関する規程の一部改正について
- ・社会福祉法人誠心会諸手当の改正について
- ・社会福祉法人誠心会旅費規程の一部改正について
- ・令和7年度社会福祉法人誠心会事業計画及び職員体制について
- ・令和7年度社会福祉法人誠心会収支予算について

③理事会の開催

- (1) 令和6年6月1日（土）午前10時より 誠心寮心理療法棟遊戯療法室

◎理事定数6～8名（現員7名）全員出席 監事 田宮 康弘 出席

◎協議事項

- ・令和5年度社会福祉法人誠心会事業報告について
- ・令和5年度社会福祉法人誠心会収支決算報告及び監査報告について
- ・社会福祉法人誠心会理事候補者の選任について
- ・社会福祉法人誠心会評議員候補者の選任について
- ・社会福祉法人誠心会評議員選任・解任委員会の開催について
- ・令和6年度社会福祉法人誠心会第1回評議員会の開催について

- (2) 令和7年3月1日（土）午前10時00分より

◎理事定数6名以上8名以内（現員7名）の内7名全員出席 監事 大石 英博 出席

◎協議事項

- ・社会福祉法人誠心会俸給表の改正について
- ・令和6年度社会福祉法人誠心会補正予算について
- ・永年勤続表彰該当者の選考について
- ・社会福祉法人誠心会育児・介護休暇等に関する規程の一部改正について
- ・社会福祉法人誠心会諸手当の改正について
- ・社会福祉法人誠心会旅費規程の一部改正について
- ・令和7年度社会福祉法人誠心会事業計画及び職員体制について
- ・令和7年度社会福祉法人誠心会収支予算について

・令和6年度社会福祉法人誠心会第2回評議員会の開催について

④評議員選任・解任委員会の開催

(1) 令和6年6月11日(火)

◎評議員選任・解任委員会委員定数3名の内3名出席

◎協議事項

・評議員の選任について

2. 市児童福祉関係課及び市社会福祉協議会との密なる連携による市福祉向上並びに県福祉関係機関との連携による福祉向上の推進

- ・要保護児童対策推進協議会委員、瑞穂市いじめ対策連絡協議会に参加し、地域福祉の充実の為に活動。
- ・ショートステイ事業による地域福祉への貢献（瑞穂市、本巢郡北方町、本巢市、大垣市、養老町、輪之内町と契約）。
- ・県児童福祉協議会（事務局）及び県社会福祉協議会（福祉人材センター）への参加により、側面からの支援活動をし、地域並びに市、県、全体の社会福祉、特に児童福祉の面で事業充実の為に活動。
- ・本田第一保育所、本田小学校、穂積北中学校との連携活動としては、本田第一保育所の行事への参加、小学校と中学校はそれぞれ誠心寮の子どもの状況等を共通理解するための懇談会の開催。
- ・穂積北中学校区学校運営協議会に施設長が委員として参加。
- ・瑞穂市いじめ問題連絡協議会に施設長が委員として参加。
- ・瑞穂市社会福祉協議会苦情解決制度第三者委員として参加。

3. 広報活動の充実強化

- ・誠心会が発行する毎年の「えにし」を会員を含め約500部配布し、年度の事業計画、予算、事業報告、決算等について報告。
- ・ホームページにおいても、年度の事業計画、予算、事業報告、決算等について掲載しているほか、職員の募集、実習やボランティアの受け入れなどについても掲載し、広く広報している。また、「おかげさま」のコーナーでは、寄付や寄贈の紹介。
- ・インスタグラムにて施設の様子を掲載
- ・オレンジリボンたすきリレーでの啓発活動。
- ・岐阜県社協主催の就職フェアへの参加。
- ・岐阜県児童福祉協議会就職フェア（2回）への参加